

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 29 年 8 月 31日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3492100031		
法人名	社会福祉法人 口和福祉会		
事業所名	グループホーム口和		
所在地	広島県庄原市口和町永田413 (電話) 0824-89-2700		
自己評価作成日	平成29年8月7日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2016_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3492100031-00&amp;PrefCd=34&amp;VersionCd=022">http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2016_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3492100031-00&amp;PrefCd=34&amp;VersionCd=022</a>
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成29年8月22日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

グループホーム口和では9名の利用者様が生活をされておられます。皆様それぞれに役割りをもたれて日々の生活の中でその力を発揮されておられます。毎日の散歩の日課を欠かさず、また地域の方と声のかけあえる関係を築いています。また月に数回、庄原市内へ買い物に出かけ買い物を楽しまれています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

空気の綺麗な環境に法人があり、その一面にグループホームが併設してある。理念を基に心を磨く事を目標に掲げ職員全体で取り組まれている。毎日、朝夕に全員で散歩を行う事で近隣の住民との交流が図れ、地域の中に馴染んだ関係になっている。食事は3食とも手作りで準備されており食材はグループホームで作った野菜や地元で出来たお米を使用する事で新鮮なものが提供されている。また、畑作業等で汗を流した際にはいつでも入浴できる環境となっており入居者本位でのケアが実践されている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	グループホーム口和の理念は「小さな気遣いが大きな安心」です。細かな気遣いを日々心掛け利用者様が安心して生活が営まれるように取り組んでいます。少しでも気になるような出来事がある時などはその都度その出来事に対し確認し共有しています。	理念である小さな気遣いが大きな安心になる事を入り口の良く見える位置に大きく掲げ、常に職員が意識して業務に取り組めるように配慮している。衣類の調整や水分補給の工夫等に細かな気遣いが何え大きな安心となる様に支援している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	散歩や通院、買い物などを通じて地域と関わりを継続しています。	管理者が老人介護センターと兼務している事で地域との関係は密になっている。地域の中でしっかりと馴染みの関係が築けていることで朝、夕の散歩コースに近隣の住民による休憩所が設置されている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	キャラバンメイトへの参加と庄原市社会福祉協議会口和地域センターと協働して地域の中学校小学校訪問し体験学習、啓発学習など実施しています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	行政関係者、保健師、消防署、警察、民生委員の方々にも参加していただきより多くの方々にグループホーム口和を知っていただくように取り組んでいます。	運営推進会議では行政職員、保健師、消防署、警察、民生委員等の多くの出席があり連携が図れている。会議では消防署と避難経路の確認や警察署とお散歩コース等の危険箇所確認等も行われ利用者本位の会議が定期的開催されている。	報告書では議題を明確にし、参加者の発言を参加者毎に残すようにする事で今後の運営に活かせる様改善を期待したい。
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	地域包括支援センターの保健師や社協と協力関係を築いています。また週1回のミニ調整会議、月1回の地域ケア会議へ出席し各関係機関との情報共有を図っています。	水曜日に居宅と合同で地域との会議を行い、そこで出た事案を月1回開催の地域ケア会議で話し合っている。また、市町とは認知症サポーター養成講座を多数依頼されるほど信頼関係が構築出来ている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	法人内研修に職員全員が参加し身体拘束について理解を深めています。	身体拘束を行った事例は一件もない。身体拘束ないように法人内で研修会を開催し職員に意識付けを行っている。また、万が一身体拘束した際にもマニュアル及び書式が準備してありしっかりと整備されている。	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	法人内で研修会を実施しています。		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるような支援している。</p>	法人内で研修会を実施しているほか、社会福祉協議会や関係機関の方にお話しを聞くなどその必要性などを学び、取り組んでいます。		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	契約時には担当職員がわかりやすく説明しています。契約後でも疑問や質問があればその都度説明しています。		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	面会が頻繁にあるご家族様には今の様子などをお話しさせて頂いております。また、意見などもその都度受け付けられるようにしております。その他に、1カ月に1回メッセージカードに入居者様の様子を書き添えてご家族様に送らせて頂いております。	利用者、家族から意見をしっかりと聞き取れるように面会時には時間をとり面談している。出てきた意見の中には食事時間に関する要望があり職員全体で話し合い利用者本位に変更した事例もある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	会議や業務の中で職員からの意見を聞き取って翌月などに職員全体で意見など精査し業務に反映できるか検討しています。	月に1回幹部職員による法人会議がありその内容を基に職員間で話し合える体制が構築されている。 また常時、職員同士や上司と何でも話し合える雰囲気がありその都度すぐに検討出来る環境がある。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	各職員が向上心と明るく仕事が出来る環境作りに努めています		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	法人内研修を実施。職員全員参加で取り組んでいます。出席できなかった職員には後日伝達研修を実施しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	外部研修に参加し他の事業所の職員と情報交換を行なっています。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	本人様、家族様からの要望や願いなど聞き取り本人様が安心して生活が出来るように支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>家族様が思う要望、不安な事など入居前、入居後問わず安心していただけるようにいつでもお話しを出来る関係作りに取り組んでいます。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>グループホーム口和では初期の関わりを最重要として職員同士意識共有しています。他のサービスを含めた対応は現在のところありませんが、それに応じた対応はさせていただきます。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>食材の下処理や、食事前のテーブル拭きや洗濯物たたみなど各利用者様が出来る事をして頂いており、職員はその過程に対してお手伝いさせて頂いております。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>衣類や履物などその時に応じて必要な時にご家族に協力していただきながら、利用者様に関わっていただいています。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>他施設に入所されている家族に面会できるように施設と調整をさせていただき面会の支援をさせていただいております。大切な人と出会える機会を出来るだけ実現できるように支援させていただいております。</p>	<p>入居しても馴染みの関係が途切れないように面会は自由にしており昔馴染みの友人が来られている。お手紙や年賀状も交換しており大切な人との関係が途切れないようにしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	利用者様が一緒にできるレクリエーションや家事活動を通じて利用者同士関わりを持てるように取り組んでいます。		
22		○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	利用契約終了後も家族より問い合わせ相談があれば対応できるように取り組んでいます。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日常生活での支援を通じてひとりひとりの性格や好みを見極めながら以降の把握に努めています。	思いや意向の確認に24時間シートを活用している。入居時は最低でも3日間記入し介護保険更新時には1日間記入するシステムになっている。このシートを利用する事で意向がしっかりと把握でき思いや意向にそったケアが実践出来ている。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	利用者様との関わりの中でこれまでどのような暮らしをしてこられたかを聞き取り、これまでの暮らしの把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	入居前からのアセスメント、入居後からの24時間シートからの情報をもとにその人の生活パターンを把握しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>職員全員で24時間シートの作成に取り組む、ケアプランに反映させ統一した介護に取り組んでいます。</p>	<p>24時間記入シートを基に出勤者と介護支援専門員と一緒に原案を作成している。原案を基にご家族を含め今後のケアについて共有し統一したケアが出来る様に取り組んでいる。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日々のケース記録や介護記録を通じて一人ひとりの現在の状況を職員間で共有し日々の実践につなげています。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれ出るニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>職員と利用者が一緒に地域の商店に買い物に行くのに便乗して家族に面会出来る様にお連れしている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>地域の方が作られた庭園に日々散歩で立ち寄らせて頂き以前から顔なじみだった地域の方と会話を交わしながら楽しんでいます。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>主治医、歯科医師と日ごろから連絡を取り合い情報交換を行っています。また月に1度は定期通院を行い緊急時に対応できるよう取り組んでいます。</p>	<p>利用者、家族の意向で法人の近くの病院を希望される方が多い。定期的を受診しており信頼関係も良好である。その他の専門医にはその都度お連れできるシステムがあり、緊急時には主治医と連携出来る様になっている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>現場での利用者様との関わりやバイタルチェックによる観察で体調変化の気づきなど併設施設の看護師に相談し今後の対応や医師の受診に取り組んでいます。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時の状態を家族や医療機関などへ聞き取りを行い本人様が退院されても安心して生活ができるよう取り組んでいます。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>重度化については併設施設や嘱託医の指示のもと医療機関につなげています。口和福祉会の方針については契約時に家族様に説明し同意をいただいています。</p>	<p>重度化になった場合や終末期を迎えるときの説明は入居時に行っているが今の所看取りを希望される方はおられない。法人内に特別養護老人ホームと短期入所が併設しているので重度化した場合には受け入れ共有が出来ている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>法人内で研修会を実施。心肺蘇生法からAEDの使用方法について勉強会を実施しています。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>法人内で年2回火災避難訓練を実施しています。火災時の消火訓練や避難経路の確認をしています。当ホーム付近に河川があり水害を想定した避難訓練を計画しています。</p>	<p>グループホームで年に2回火災訓練を実施しておりそのうち1回は夜間想定訓練も行っている。訓練には消防団、消防署も立ち会ってもらい指導を受けている。消防署による水害時を想定しての非難経路も検討した事例もある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	一人ひとりの利用者様に対して親しみを持ちながらも、敬意を持った関わりと言葉掛けを心掛けています。	1人ひとりに合わせた対応を心がけ大勢の中ではなく個別で対応出来る様に支援している。例えば衣類の重ね着をしている利用者に対して居室にお連れし、『こっちの方が似合いますよ』等の声掛けによりプライバシーに配慮した支援を行っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	日常生活のなかで入居者の皆様が自分らしく表現ができるように関わりを持っています。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	基本的なスケジュールはありますが、ひとりひとりの生活リズムを大切に安心して生活ができるように援助しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	その人らしく表現できるようにオシャレや身だしなみ、整容のお手伝いをさせていただいています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事前のテーブル拭き、食後の食器の片付けなど一人ひとり出来る事をして頂いています。	毎食手作りで食事を準備している。食材もグループホームの畑で出来た物を利用しお米も地元の物を使用する事で新鮮な食材が提供できるようにしている。利用者の食べたい物は日々の会話の中でみつけその都度メニューに取り入れている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>利用者様の体重から一日に必要な水分量を計算し水分を摂取していただく機会を一日の中で何度も設けています。出来るだけ水分を摂取していただくよう水分チェック表に記載しながら支援しています。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後の口腔ケアを実施しています。また治療が必要な方については歯科受診に対応しています。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄について自立されている方は随時トイレに行ってもらっています。紙パンツなど支援が必要な方は声掛けをして排泄の支援をさせていただいています。</p>	<p>1人ひとりに合わせた声掛けを行う事で現在はリハビリパンツの利用者が1名しかおらず自立した排泄が行われている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>日々の運動や水分量の確保をして便秘の予防に努めています。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>グループホームでは2グループに分けて1日おきに入浴を実施しています。また入浴日ではない時でも随時入浴できる体制を整えています。</p>	<p>一日おきに全利用者が入浴している。また，作業して汗が出たときには随時入浴できるシステムがある。今後は職員からの要望もあり毎日入浴できるように検討をおこなっている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>入居者様ひとりひとりにあった休息をとってもらっています。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>医師からの説明と看護師との連携で服薬管理を行っています。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごすように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>食事の準備、掃除などそれぞれの役割を持って活動できるように生活支援を行っています。またその人ができることできないことをその都度把握できるよう努めています。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>職員と買い物に出掛ける際に、普段会えない家族様に合っていただく機会を、他の施設、家族様に協力していただきながら実施しています。</p>	<p>毎日朝、夕の散歩に出かけている事と月に一度は庄原市のスーパーに買い物に行くようにしている。楽しみな外出支援としては花見、ドライブを企画し外食支援としてお寿司やラーメン等に半年に一度いける様に支援している。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>本人様がお金を管理して自立に向けた生活を支援することが大切なことは理解していますが、法人全体の取り組みとして原則金銭の持ち込みは禁止にしています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>入居者がいつでも連絡がとれるよう支援しています。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>共用の空間は出来るだけ利用者様が使いやすいように椅子やソファなどを設置しています。また、気温、湿度もチェックし過ごしやすい環境を提供できるように取り組んでいます。</p>	<p>共用リビングには毎年手作りで作成した干支が飾られており賑やかな装飾となっている。また、季節の行事や写真を展示し居心地よく過ごせる様な配慮がなされている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>リビング、廊下に椅子を設置しておりいつでも一人になれる空間を用意しています。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>居室には利用者様が使っておられた品物、家族様が持ち込まれたものなど利用者様が安心して生活が出来るようにしています。</p>	<p>居室のエアコン、カーテンは設置している。ベッドやタンス等は使い慣れた物を持ち込みされている。居室にはご家族により写真等が飾られ本人が落ち着いて過ごせる配慮がされている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>入居者が安心して生活ができるように職員同士で情報を共有し自立に向けた生活を支援しています。</p>		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き生きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム口和

作成日 平成29年10月4日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議は定期的 に開催しています。関係 者の方々にはアドバイ スをうかがっている が参加者毎の発言を記 入が不十分であった。	参加者の発言を今後は 書面に記入しておく。	参加者毎の発言を記録 する。	1年
2					
3					
4					
5					
6					

注1) 項目番号欄には, 自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は, 行を追加すること。